

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 第四回運営会議
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ①長野市中心市街地活性化基本計画〔長野地区〕(素案)への意見書提出について ②協力会員の申し込みについて ③平成19年度協議会役員について ④平成19年度年間事業計画(案)について
日 時	平成19年3月28日(水) 11:00～11:30
場 所	長野商工会議所 特別会議室(4階)
出席者 (敬称略)	<p>(運営委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 塚田国之(会長)、越原照夫 ・長野商工会議所 青木恵太郎(副会長)、渡辺晃司(副会長) ・長野市役所 中村治雄〔欠席〕、小池睦雄 ・長野経済研究所 平尾勇〔欠席〕 <p>(タウンマネージャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 服部年明 <p>(監査役)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野信用金庫 西澤章夫 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 羽田稔 <p>(市担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進課 横畷俊明、久保幸一 ・商工振興課 伝田賀弘、小林弘明、北原孝 <p style="text-align: right;">【計15人】</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ①会議次第 ②長野市中心市街地活性化基本計画〔長野地区〕(素案)への意見書 【資料1】 ③協議会 新規入会申込者 【資料2】 ④平成19年度協議会運営委員等(案) 【資料3】 ⑤平成19年度協議会年間事業計画(案) 【資料4】

内容	<p>議事① 長野市中心市街地活性化基本計画〔長野地区〕（素案）への意見書提出について ～事務局より、資料1について説明～</p> <p>（塚田会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の基本計画が出来上がり、国への認定申請という段階になった。 ・これからは、より具体的に踏み込み、関係者調整、事業スキーム、どこから手をつけるかなど、協議会の中でも話をしていき、まちづくり長野なり、事業者なりが、推進していくことになる。 ・重要な役割を協議会が担っていくことになる。 ・基本計画の意見書提出については、皆様のご了解をいただいているところ。3月9日付で市に提出した。 <p>議事② 協力会員の申し込みについて ～事務局より、資料2について説明～</p> <p>——申し込みのあった4団体の入会について承認。</p> <p>議事③ 平成19年度協議会役員について ～事務局より、資料3について説明～</p> <p>（塚田会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今の構造の継続を前提として考えるがいかがか。 ・人事異動により役職の変更があったときは、運営会議で承認を賜り変更していく。 ・今回は、服部タウンマネージャーが、中小機構のアドバイザーとして全国での指導にあたることになった。 ・新たなタウンマネージャーとして越原氏に就任してもらい、越原氏が務めていた運営委員には、新年度からのまちづくり長野への出向を準備している商工会議所の田中次長があたる。 ・市の小池部長、中村部長についても人事異動により次に役職にあたる方へ変更となる。 ・この布陣でよろしいか。不都合があれば改選期にいろいろご意見をいただきながらメンバーを見直していく <p>——新年度協議会役員について承認。</p>
----	---

議事④ 平成 19 年度年間事業計画（案）について

～事務局より、資料 4 について説明～

（塚田会長）

- ・計画としてはこの内容で進めていきたいと考えるがいかがか。
- ・早めに詳細日程を入れてお示ししていきたい。

（青木副会長）

- ・資料の「補助対象経費自己負担分」とは何か。

（事務局）

- ・補助対象となる経費のうち補助金を差し引いた残りの金額である。
- ・補助金が得られたとしても、自己財源として 1 / 3 は負担しないとイケない。

（青木副会長）

- ・調査研究の委託については、歩行者通行量と郊外大型店来店客との関係も調査できるのであれば検討してもらいたい。歩行者通行量が減った分はどこに動いているのか。通行量は減ったけれど車で来ているとか調査できるかどうか。

（服部マネージャー）

- ・千歳通りは相当歩くようになったが、歩行者通行量調査にどう加味していくかは検討必要。

（青木副会長）

- ・調査地点を変えてしまえば、今までの傾向は分からなくなる。しかし、歩行者が増えてくるのにどのくらい歩いているのか分からないという地点があるのでは問題である。調査が必要な場所は変化する。

（塚田会長）

- ・歩く人のエリアがだんだん移っているのは長期的に見ると分かる。だんだん東に移ってきている。

（青木副会長）

- ・中央通りから大通り方面に移っている面もある。

以上、議事全て承認。